

市立三次中央病院

所在地：〒728-8502 広島県三次市東酒屋町10531番地
 電話番号：0824-65-0101 FAX番号：0824-65-0150 URL：http://www.miyoshi-central-hospital.jp
 アクセス：JR芸備線三次駅からバスで10分



病院概要 令和2年4月現在

開設年：昭和27(1952)年
 院長名：永澤 昌
 医師数：75人(研修医を除く)
 研修医数：1年目2人 2年目1人
 研修医の：広島大学、琉球大学、東北大学、近畿大学、高知大学など
 主な出身大学
 病床数：350床
 診療科目：内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内分
 泌内科、緩和ケア内科、腎臓内科、小児科、外科、整形外科、脳神
 経外科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線治療科、放射線診断科、リハビリ
 テーション科、リウマチ・膠原病科、血液内科



病院のアピールポイント

当院の基本理念に、「地域を担う医療人の育成」があります。また、国内外への学会研修補助・資格研修補助の予算をしっかりと確保するなど、教育・研修に病院をあげて取り組んでいます。
 広島県北～島根県南～岡山県北を広くカバーします。地域医療・救急医療・2-2.5次医療の真ただ中で、質量とも豊富な症例を経験しながら、自然にプライマリ・ケアを身に付けることができます。

研修プログラムの方針及び特徴

当院では、①マンツーマンの指導体制②豊富な症例経験③細やかな研修評価とそのフィードバックにより、自然に医師としての力量が身に付くことを保証します。
 初期研修では、「全人的医療を行える知識・技能・態度を習得し地域医療を担えることのできる医師をなすこと」を目標とし、基本は全科ローテーションです。月1回の細やかなヒアリングで、研修プログラムの修正を行います。また、少人数に抑えた募集のため、専門科研修を多めに設定することも可能です。
 各種学会の専門医・認定医の研修施設にも指定されており、それらを引き続き目指すこともできます。

初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科							救急・麻酔科			小児科	
2年次	産婦人科		外科			地域医療	精神科	選択希望科				

※臨床研修協力施設：詳しくは、ホームページをご覧ください。

指導医の体制 令和2年4月現在

※()内の数字は、厚労省の開催指針に則った指導医講習会を修了している者の数

	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	放射線科
指導医数	26 (10)	4 (2)	8 (6)	5 (2)	3 (2)	5 (1)	2 (2)	3 (2)	3 (0)	4 (1)	5 (2)	3 (2)

研修・認定施設 (詳しくは、ホームページをご覧ください。)

- 救急告示病院
- 災害拠点病院 (地域災害医療センター)
- 地域周産期母子医療センター
- 広島県へき地医療拠点センター
- 厚生労働省臨床研修病院
- 日本脳神経外科学会専門医認定施設訓練病院
- 日本消化器病学会認定医制度認定施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

募集要項 (令和3年4月採用)

試験概要

- 採用予定数：5人
- 出願期間：令和2年8月23日まで
- 出願書類：卒業(見込み)証明書、履歴書
- 試験日：8月末まで随時
- 選考方法：面接、小論文

当直

- 当直：有 4～5回/月(1年次は指導医等と併に当直)
- 当直手当：1年次 20,000円/回 2年次 25,000円/回
- 勤務時間：宿直 17:00～翌朝8:30
日直 8:30～17:00
- 当直後の勤務免除：有

指導医からのメッセージ

救急医療・2-2.5次急性期医療を担うためのハードが整った当院での研修をお勧めします。また、研修医のための図書・機器設備にもしっかりと予算をとって対応しています。



副院長 立本 直邦

月1回の細やかなヒアリングを行い、研修医の意見を積極的に取り入れた研修プログラムの修正・ハード整備を行っています。結果的に多くの症例を経験しながら、自然に医師としての実力が身に付く環境です。

また指導医の育成(講習会派遣の援助等)を病院として推し進めており、レベルの高い指導医を揃えていると自負します。

さらに、病院周囲の環境も抜群です。12面のテニスコート、プロ野球公式戦も行われる野球場、天然芝のサッカー場、美術館、ワイナリーが隣接しています。

幅広い経験を積める良質な研修、豊かな自然と充実の福利厚生施設を求める方は、是非おいでください。

働きやすい勤務環境PR

周囲に競合病院がなく症例が集まるので、プライマリ・ケアから高次医療まで質量とも豊富な症例を経験することになります。

当院の基本方針に「地域を担う医療人の育成」があり、教育に力を入れています。医師のみならず、コメディカルの研修にも積極的に援助を行っています。専門資格・技能を有した看護師・コメディカルも多くいますので、多数の指導医のみならず、それらの看護師・コメディカルからも指導を受けることができます。

教育をする風土によって、医師としての力量・素養を自然に涵養できることを保証します。

処遇

- モデル給与：1年次 5,841,150円
(年額) 2年次 6,300,000円
- 手当：救急での日直手当は25,000円/日、当直手当は25,000円、副当直は20,000円
- 勤務時間：8:30～17:00
- 休暇：年次有給休暇(1年次15日、2年次20日)、夏休暇3日(7月～9月)、リフレッシュ休暇2日*別に病気休暇・特別休暇は一般職員規定に準ずる。
- 社会保険：健康保険、労働保険、雇用保険、厚生年金

設備

- 研修医用宿舎：有(家賃:10,000円/月)
- 図書室：有
- 研修医室：無
- 院内保育：有

研修医からのメッセージ

当院は東北の医療を一手に担う基幹病院であり、救急疾患から慢性疾患まで診療科にとらわれない幅広い症例が集まります。そのため、豊富な症例を通じて医師として不可欠な問診力・診断力が鍛えられるだけではなく、一人一人の患者の来院から退院、さらにその先の生活まで見据えた治療・支援を考えていくことで、



1年次研修医 宮地 康平

地域に根ざしたプライマリケアを実践的に学ぶことができます。また、教育方針は屋根瓦方式を採用しており、ベテランの医師から指導を受けるだけでなく、若手の医師から時に教わり、時に共に悩みながら研修をするため、主体的に研修ができる点も魅力の一つです。加えて、県内の各病院・診療所での研修や勉強会費無制限補助などの院外研修に対する支援も充実しており、1医療機関の枠を超えて様々な知識・経験を得ることができます。

長い医師人生の土台を作るこの2年間で、ここ市立三次中央病院で実りある研修にしていきたいと思います！是非一度見学に来てください！お待ちしております。



お問合せ先

申込担当部署：病院企画課
 事務担当者：住吉 克哉
 E-mail：byouinkikaku@city.miyoshi.hiroshima.jp